



くまよう通信

No. 8

令和3年11月30日

埼玉県立熊谷特別支援学校

「第53回夢祭を振り返って」

11月に入ると「夢 それは 希望♪」と学校内では夢祭のテーマソングが聴こえ始め、2年ぶりの夢祭を楽しみにしている児童生徒の様子があちこちで見られました。

待ちに待った夢祭が、11月17日（水）、18日（木）、19日（金）に行われました。今年度は学部開催になり、オープニング・フィナーレやステージ発表も動画視聴という新しいかたちでの夢祭でした。新しいことを創り出すことはエネルギーのいることです。児童生徒は、今できることを考え工夫して、みんなで協力して準備をがんばってきました。どの学部もワクワクするような催し物に、オープニング・フィナーレやステージ発表動画も工夫を凝らした力作ばかりでした。作業頒布は、他学部の開催日には無人での頒布となりましたが、買う人のことを考え、丁寧に心を込めて製作した生徒の思いが、一つ一つの品物から伝わってきました。作品展示も、児童生徒の個性輝く作品が勢ぞろいでした。当日は、どの学部の児童生徒も、笑顔溢れる夢祭になりました。

新型コロナウイルスの影響で、私たちの生活は大変なこと、我慢しなければならないことがたくさんあったと思います。学校生活においても、活動が制限されたことも多くありました。しかし、困難なことが起こった時に、すぐに諦めるのではなく、発想を変えて、今できること、これからできることを精一杯やることの大切さを、今回の夢祭を通して改めて実感することができました。子どもたちにとっての「今」を大切に、一つでも多く思い出ができるよう、引き続き感染対策を徹底しながら職員一同取り組んでまいります。

毎年、夢祭に御尽力いただいていたPTA バザーや販売、卒業生や地域交流の団体による色々な催し物や作品展示等、今年は制限させていただくことになりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には、あたたかい御理解、御協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

夢祭企画運営委員会 川俣やよい



12月の予定

6日（月）交流会 小5（久下小 11:15～）

9日（木）就学・転学に係る相談会

（小学部臨時休業）

10日（金）小学部クリスマス会（講堂）

15日（水）1月分欠食届〆切

23日（木）短縮日課 11:30 下校

24日（金）終業式 11:30 下校



冬期休業日 12/25～1/7



11日（火）3学期始業式 11:30 下校

12日（水）短縮日課 11:30 下校

13日（木）通常日課、給食開始

「待ちに待った夢祭！」

11月17日に、2年振りの夢祭が開催されました。今年度は各学部開催、小学部においては小低ブロック、小高ブロックに分かれての開催で少し寂しく感じますが、当日は大いに盛り上がりました！6年生のステージ発表は、動画での発表という形になりましたが、それぞれの得意分野を生かした動画になり大好評でした。各学年の催し物や講堂での作品展示など、日ごろの学習の様子も見る事ができました。例年とは違った形の夢祭でしたが、今できることを工夫しながら取り組むことで、楽しく素晴らしい夢祭になりました。



(小学部 永島)

「夢いっぱい 笑顔いっぱい 楽しもう夢祭」



11月18日に2年ぶりの夢祭が開催されました。生徒たちは当日の夢祭に向けて入念な準備を重ねてきました。そして、夢祭当日を迎え生徒たちの表情を見てみると、いつも以上に笑顔を浮かべている生徒が多く見られる印象を受けました。待ちに待った夢祭、3年生の素敵なステージ発表、各学年の催し物、各グループでの頒布活動等、それぞれの活動に一生懸命に取り組み、またそのなかに多くの笑顔が見られる一日となりました。フィナーレを見る生徒の表情にも充実した表情が数多く見られました。中学部のスローガンである「夢いっぱい 笑顔いっぱい 楽しもう夢祭」を達成できた素晴らしい夢祭になりました。

(中学部 羽山)

「Dream Festival～みんなの想いをこめて～」

2年ぶりに開催となった夢祭、今年度は学部開催で行われました。高等部では「Dream Festival～みんなの想いを込めて～」というスローガンの元、心をつにして全力で準備を進めました。このスローガンは高等部内で募集をし、初めて夢祭に参加する人、2年ぶりの夢祭をととても楽しみにしている人など色々な立場の人の様々な想いが込められたものであり、素敵な夢祭にしたいという想いを乗せ、生徒会の生徒たちが選びました。新しい生活様式となり、夢祭でも新たな取り組みとなりましたが、各学年・グループ、工夫を凝らした催し物や頒布会、動画発表を行うことができました。



(高等部 田谷)

「つながろう！！夢いっぱい 楽しさいっぱい夢祭」



11月17. 18. 19日の3日間にわたって各学部ごとの夢祭が開催されました。訪問教育部も独自のスローガンを掲げて、夢祭当日も今までのようにスクーリング等はできませんでしたが、何らかの形でつながろうと準備を重ねてきました。日々の授業で作りあげた作品展示や、無人頒布でも、一人一人撮影したコマーシャル動画を流し続けて大繁盛していました。訪問教育部のステージ発表動画も、それぞれ学部ごとに時間を取っていただき見合うことができました。

(訪問教育部 常木)